

木曾建材工業株式会社の建物劣化診断調査

大規模修繕工事は、建物の劣化現象及び程度を正確に把握して頂き工事の範囲、適切な改修方法を決定する事が大切です。

建物の劣化診断を適正に行い工事を成功させる診断調査資料は大変重要なポイントです。

<p style="text-align: center;">目視・アンケート調査</p>  <p>建物の各部位の劣化状況を見視で調査、全体の劣化を把握します。</p>	<p style="text-align: center;">打診調査</p>  <p>パルハンマー等を使用してモルタル・タイルなどの浮きを判断します。</p>	<p style="text-align: center;">赤外線撮影調査</p>  <p>専用の赤外線カメラを使用して、表面温度の違いで劣化度合いを調査します。</p>
<p style="text-align: center;">コンクリート中性化調査</p>  <p>本来は、アルカリ性であるコンクリートの中性化の度合を調べ、劣化の程度を調査します。</p>	<p style="text-align: center;">コンクリート圧縮強度調査</p>  <p>シュミットハンマーを使用して圧縮強度を図りコンクリートの劣化度を調査しています。</p>	<p style="text-align: center;">塗装付着力調査</p>  <p>下地の塗膜がどの程度の付着があるか測定する調査です。</p>
<p style="text-align: center;">シーリング材劣化調査</p>  <p>シーリング材の弾性度を測り、劣化の度合を調査します。</p>	<p style="text-align: center;">(給排水設備工事) 設備配管抜管調査</p>  <p>一部配管を抜き取り劣化、つまり状況を判断します。</p>	<p style="text-align: center;">ファイバースコープ調査</p>  <p>配管内部にファイバースコープを挿入して劣化つまり状況を判断します。</p>

※上記 簡易診断・精密診断業務は、有料となります。